

平成30年7月2日

近畿中部防衛局長  
藤 代 誠 様

京丹後市長 三崎 政直

米軍・経ヶ岬通信所における商用電力の導入遅延に  
係る申し入れ

京丹後市は、経ヶ岬通信所における発電機の騒音問題について、基地周辺住民への多大な負担がある中で、一日も早く騒音問題から地元の方々が解放されるよう、その抜本的な解決策である商用電力の導入を最重点課題として、機会あるごとに防衛省及び米軍に対し強く求めてきたところです。

しかしながら、経ヶ岬通信所の実情を勘案し、地域の安全性を高めるための仕様の変更とはいえ、結果として、再び商用電力の導入が遅延することは大きな問題で、極めて遺憾であります。

騒音問題を早期に解決するという方針は、国として地域住民に約束されたことであり、地域住民への十分な説明と謝罪、国の責任としてあらゆる方策を講じ、関係工事が安全・適切に実施され、商用電力の早期導入が図られるよう米軍に対し厳しく指導することを、強く申し入れます。